

祝 辞

少しずつ暖かくなり、春らしさを感じる頃となりました。アルプスの雪形もはっきりしてまいりました。

私たちを悩ませたコロナからも、ほぼ解放され、人々の動きも活発になってきました。

旅立ちの春。いよいよ、新しい世界に向けて出発する時がやって来ました。

卒業生の皆さん、本日はご卒業、誠におめでとうございます。

皆さんを励まし、時には厳しく指導してこられた、校長先生はじめ、諸先生方の熱心なご努力に、深く敬意を表し、同窓生を代表致しまして感謝の気持ちをお伝え申し上げます。

また、惜しみなく愛情を注ぎ、見守ってこられたご両親・ご家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。かつて経験したことのない、新型コロナウイルス感染症に翻弄された日々でありました。毎日

の生活には心配の種が尽きなかったかと思えます。

本日の卒業証書授与式に保護者の皆様と共に参列でき、同じ感動を味わえることを、心より感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、大勢の友人たちと共に青春を謳歌し、学業にクラブ活動に、また、生徒会活動に打ち込んでこられた3年間は、いかがなものでありましたでしょうか。皆さんの頑張りに、心から共感し、皆さんの船出にひと言、励ましの言葉を添えたいと思います。

私は、以前から美須々の同窓生には不思議な力が備わっていると感じています。私の周りには大勢の同窓生がいますが、他校の卒業生とは少し違いがあります。

それは、協調性が高いという点です。人当たりが良く、豊かな人間関係を築いている卒業生を多く見かけます。美須々では、学生のころからこのコミュニケーション能力が育てられているように思えてなりません。

私は、先日、ある経済団体が開いた講演会に興味

を持ち参加しました。

『お笑い芸人に学ぶ！ 豊かな人間関係を築くためのコミュニケーション術』というテーマでした。

講師は放送作家・漫才作家の村瀬健という方でした。

中身は、話の聞き方のテクニックについて。

良い人間関係を育むということは、話している人を気持ちよくさせる話の聞き方だとして、そのテクニックとして4つの鉄則を教わりました。

1つ目。話している人の目をじっと見ること。

2つ目。相手の話にならずにこと。共感しなくても、ひとまず、うなずいてあげること。

3つ目、相手の話に、あいづちを打ち、あいづちがうるさいなと思ったら黙り、あいづちの種類を変えていくこと。(うん、はい、ええ、ほう)から(なるほど、そうなんですわ、わかりますわ、本当ですか)

4つ目、共感のあいづちを、たくさん打つこと。相手の感情に寄り添うのが、ポイント。

仕事中に話しかけられたら、今している手を止め

て、真剣に相手の話を聴いてあげる。

以上が素晴らしい人間関係を築くテクニクということですか。いかがでしょうか。

私は、とても納得でき、難しい講演会より、ためになった気がしました。

さて、親もとを離れる皆さんが多いと思います。どうかくれぐれも自己管理を怠らず、健康で前向きな人生を歩んでください。

卒業生の皆さんの今後のご活躍を祈り、同窓会を代表しての祝辞とさせていただきます。

令和六年三月一日

長野県松本美須々ヶ丘高等学校

同窓会長 小林磨史